

1 学校経営の概要

1 校訓

「創造 充実 発展」

- 創造：新しいことを“初めて創り出す”こと
- 充実：物事を成し遂げる力が“十分に備わっている”こと
- 発展：物事の勢いや力が“伸び広がる”こと

2 学校教育目標

「高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成」
～笑顔と感動のあふれる大潟中～

3 目指す生徒像 ※10～20年後に活躍できる生徒

※生徒、保護者にも分かるようにアイコンで示す

- (1) 自ら学び、表現できる生徒 …探究心
- (2) 高い志を持ち、凡事を徹底できる生徒 …行動力
- (3) 思いやりの心を持ち、仲間と共に励む生徒…協働性

アイコン例



4 目指す教師像 ※笑顔で楽しく、誇りをもって仕事をする教師

- (1) 自己研鑽に励み、使命感と情熱をもつ教師
率先垂範、分かる授業、ICTの効果的活用、深い生徒理解、毅然とした指導
- (2) 豊かな人間性と人権感覚をもつ教師
生徒一人一人への愛情、言葉の重みを理解、温かさと思いやり、想像力
- (3) 謙虚で礼儀正しく、組織的に職務を遂行する教師
組織的対応力、信頼、服務規律の遵守

5 目指す学校像 ※子どもが主語になる学校、Well-beingの実現を図る学校

- (1) 自己有用感を高め、一人一人が活躍できる学校
奉仕活動や体験活動の充実、よさを認め合う場の設定
- (2) 心身の安全・安心が守られ、健康に生活できる学校
いじめや暴力に対する毅然とした指導、交通安全や危機管理指導の徹底
- (3) 保護者や地域の期待に応え、信頼される学校
法令を遵守した服務規律、活発な情報発信、地域の教育力の活用

6 学校経営の方針

全教育活動を通して、生徒の「キャリア発達」を促す学校運営を目指す。

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成」

7 学校経営の重点

居心地のよい環境の中で生活・活動をするために、大潟こども園・大潟小学校・大潟中学校が一貫して取り組む

◇ 三つのルール ◇

- 人の話は最後まで聴く
- 人の失敗を笑わない
- 人の嫌がることをしない・言わない

(1) 学力向上の推進【学び】

- ① ICT機器を効果的に活用した授業構成
何ができるようになるのか（学習到達目標）を明確にし、一人一人の理解度に応じた学習により、思考力・判断力・表現力等を育てる。
- ② 「主体的・対話的で深い学びの実現」による資質・能力の育成
秋田の探究型授業の基本プロセスをベースにして、問いを立てる力や自分の考えを表現する力を高め、問題解決能力の向上を図る。
- ③ 効果的な家庭学習の在り方
タブレット活用（日常的な持ち帰り）で、個別最適な学びの充実を図り、意欲的に学ぶ態度を育成する。

(2) たくましい心と体の育成【育ち】

- ① 規律と礼儀を重んじた学校風土づくり
積極的な生徒指導を推進して、互いのよさを認め合う共感的人間関係づくりに努め、学校生活のルールや社会のモラルを大切にし、集団生活をよりよくしようとする態度を育てる。
- ② 健康の保持増進と体力の向上
明るく安全で活力のある学校生活を営もうとする態度を育てるとともに、教育活動全体を通じて体力の向上を図る。
- ③ 地域に根ざしたキャリア教育の充実
職場体験やボランティア活動等の実践的・体験的活動を推進し、将来の希望実現に向けた主体的行動力を養うとともに、自己有用感を醸成する。

(3) 道徳教育の充実【心】

- ① 思いやりの心の育成 ※B（主として人との関わりに関すること）6
自分も他者も共にかげがえのない存在であることを自覚し、相手の立場を考えて行動しようとする態度を育てる。
- ② 開拓者精神の醸成 ※A（主として自分自身に関すること）4
困難に臆せず、高い志や自己目標の実現に向けて、粘り強く取り組む態度を育てる。
- ③ 郷土愛の涵養 ※C（主として集団や社会との関わりに関すること）1 6
自然や人など優れた地域素材への積極的な関わりを通し、活力ある郷土づくりに参画する態度を育てる。

8 特色ある取組

(1) 地域と共にある学校づくり

- ① 大中キラキラ塾
- ② 地域人材を活用した部活動
- ③ P T A、学校運営協議会との熟議

(2) 国際理解教育

- ① 台湾雲林県立虎尾国民中学との交流（大潟村子ども海外交流実行委員会主催）
- ② 英検全員受験
- ③ A L Tの効果的な活用

(3) 生徒の社会的自立に向けて

- ① 発達の段階に応じた体験活動の充実
- ② 将来の夢、進路目標の確立
- ③ 自己有用感の醸成（いいところ探し）

2 学校経営の全体構想図

秋田県学校教育の指針
中央地区学校教育の重点
大潟村の教育

校訓
創造の意気を活発な話し合いで
充実の意気を明るい挨拶で
発展の意気を元気の歌声で

生徒の実態
保護者の願い
地域の願い

学校教育目標

高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
～笑顔と感動のあふれる大潟中～

<重点目標> ○学力向上の推進 ○たくましい心と体の育成 ○道徳教育の充実

<学校経営の方針> 全教育活動を通して、生徒の「キャリア発達」を促す
「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成」


目指す学校像


- 自己有用感を高め、一人一人が活躍できる学校
- 心身の安全・安心が守られ、健康に生活できる学校
- 保護者や地域の期待に応え、信頼される学校


目指す教師像

- 自己研鑽に励み、使命感と情熱をもつ教師
- 豊かな人間性と人権感覚をもつ教師
- 謙虚で礼儀正しく、組織的に職務を遂行する教師

目指す生徒像、育成したい資質・能力及び基礎的・汎用的能力

自ら学び、表現できる生徒
探究心 

高い志をもち、凡事を徹底
できる生徒 行動力 

思いやりの心を持ち、仲間
と共に励む生徒 協働性 

- 問いを見だし、自分なりの方法で解決を図ろうとする態度
- 思考、判断したことを表現する力
- ☆課題対応能力

- 夢をもち、将来設計をする力
- 自己を肯定的に捉える力
- 粘り強くやり遂げる力
- ☆自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力

- 他者を尊重し、感謝する態度
- 他者と協働し、新しい価値を創造する力
- ☆人間関係形成・社会形成能力

居心地のよい環境の中で生活・活動をするために、

大潟こども園・大潟小学校・大潟中学校が一貫して取り組む<3つのルール>

- 人の話は最後まで聴く
- 人の失敗を笑わない
- 人の嫌がることをしない・言わない

研究主題

ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり
～問題解決能力の育成を目指して～

<研究仮説> ICTの効果的な活用を基盤として、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させながら、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりに取り組むことで、問題解決能力の育成を図ることができるのではないか。

<授業構想の3つの視点> ICTの効果的な活用を基盤として、
・主体的に取り組むための工夫
・関わり合って思考を広げるための工夫
・学びを自覚したり学んだことを活用したりするための工夫

3 学校経営と『大潟村連携教育』との関連図

